

# 令和5年度事業報告書

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

特定非営利活動法人カシオペア医療介護支援センター

## 1 NPO法人カシオペア医療介護支援センター活動の総体的な運営

### 【計画】

NPO法人カシオペア医療介護支援センターの活動は、kintone（「カシオペアNET」）を用いた福祉行政・医療・介護の連携が目的である。とくに、「カシオペアNET」は、在宅の医療・看護・介護において、在宅での患者容態観察でリアルタイムな共有を行うことでできるため、医師をはじめ看護・介護従事者の負担軽減につながり、ひいては、カシオペア地域内の円滑な地域包括ケアシステム運用につながるものとする。

地域包括ケアシステムは、地域内住民と福祉行政、医療及び介護が一体となってシームレスな提供体制を進めていくことであり、そのためには、それぞれの業務や立場を理解し「顔の見える連携」を構築していくことがとくに必要である。

NPO法人カシオペア医療介護支援センターの活動は、福祉行政・医療・介護連携の「顔の見える連携」を根幹に、地域内医療介護連携のツールとして「カシオペアNET」を運用していくこととして進めていく。

### 【実績】

講演会開催は1回、説明会1回、さらに一戸町及び軽米町からの講演依頼に対し講師を派遣するなど地域内健康維持及び従事者等の啓発活動にかかる取組みを実施した。

また、来年度から始める新たなICT活用事業として令和6年2月21日に開催した「カシオペアNET」構築説明会において、「地域包括ケアシステムに対応した活動」、「在宅医療に必要な連携を担う拠点としての活動」を推進していくことを明確に示した。

今後の取組みの柱として以下の項目を追加する。

- 1 「カシオペアNET検討委員会」の設置と活動の推進
- 2 「カシオペアNET」を、福祉行政、医療及び介護を結ぶ地域全体の包括ケアシステムに対応し活用する
- 3 NPO法人の目的に賛同する福祉行政、医療、介護等団体及び事業所への入会依頼の推進

## 2 項目別の取組み

項目	実施計画時期等	令和5年度3月末	課題
<b>1. 地域の医療・介護資源の把握</b> (1,147千円)			
(1) 定期的な施設等への窓口情報アンケート及び ヒアリングの実施 ・地域内の医療機関及び介護施設の窓口情報は、シームレスな医療・介護連携を行ううえで重要な情報であることから、	※令和5年度重点課題 年1回、7月以降順次実施	「カシオペアNET」構築にかかるファーストフェーズの課題として進めることとしたことから、令和6年度の取組みとして継続するもの。	各地域包括支援センターや介護施設等で使用している窓口情報のデータを集約し一括したデータとして作成することが必要であり、さらに地域内の地域包括ケアシステム上必要な情報として作成を進めていくこととする。

<p>「ひめほたるネット」で作成した地域内窓口情報を適宜更新・作成していく。</p> <p>具体的には、「カシオペアNET」参加施設の拡大とあわせ、参加施設とヒアリングを実施し窓口情報の収集を行う。また、参加した施設担当者が「カシオペアNET」「カシオペア機関・施設窓口情報」を入力し適宜更新できるよう説明・指導を行っていく。</p> <p>また、同様に「ひめほたるネット」で作成した「介護マップ」の更新を行い、地域内の介護施設の分布を明確にして介護分担の明確化及び地域内介護資源の分析を行っていくようにしていく。</p>		<p>令和6年度に「カシオペアNET検討委員会」の検討項目として進め、アプリの開発を進めていく。</p>	<p>また、施設の空室情報は患者・利用者の円滑な紹介につながることから運用を含め「カシオペアNET検討委員会」で検討していくこととする。</p>
<p>(2) 「カシオペアNET」参加施設の拡大促進と「カシオペア機関・施設窓口情報アプリ」の随時更新</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(1)と同様</li> </ul>	<p>※令和5年度重点課題案内文書・チラシ発信随時、参加施設への担当者及び施設機能の入力依頼</p>	<p>上記同様</p>	<p>上記同様</p>
<p>(3) 「施設入所マッチングアプリ」の活用による施設入所待機者情報の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3(2)と同様</li> <li>・利用拡大の一環として、とくに利用した場合のメリットが高い地域内ケアマネージャーの利用促進を図る。そのため、介護支援事業所等への説明会及び全体説明会、さらに研修会の開催を進めケアマネージャーへのID付与を進める。</li> </ul>	<p>参加施設の充実状況により四半期毎の発信 ケアマネージャーのID付与については、7月から8月にかけて強化月間とする。</p>	<p>今後の「カシオペアNET」構築においてNPO法人ホームページから利用者登録し「カシオペアNET」にリンクする仕組みを作成中。 ケアマネージャー等を中心に仕組みについて説明会を進める予定。</p>	<p>「カシオペアNET」全体の課題として検討していくこととする。</p>
<p>(4) 医療及び介護サービスにおける利用者アンケートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者拡大後、時期をみて実施していくこととする。</li> </ul>	<p>年1回、利用者拡大状況を見極め実施</p>	<p>「カシオペアNET」構築のフェーズ3において、利用者が自分のデータを閲覧できる機能を備えることで利便性を高めることとした。</p>	<p>利便性の向上で利用者拡大が課題とする。</p>

<p>(5) 地域内医療・介護サービスの分析及び展望に向けた「ひめほたるネット」を通じたワーキングの開催 ・2(1)と同様</p>	<p>「ひめほたるネット」との協働 令和5年度下半期の開催目標</p>		<p>「ひめほたるネット」の活動を「カシオペアNET検討委員会」の活動として継承する。</p>
<p><b>2. 在宅医療・介護連携の課題の抽出 (698千円)</b></p>			
<p>(1) 「ひめほたるネット」を通じた部会活動の発展支援（看護グループ、栄養管理グループ） ・カシオペア地域内において「顔の見える連携」活動を展開してきた「ひめほたるネット」をNPO法人内の組織として位置づけし「ひめほたるネット部会」として設置する。その中の活動として「看護グループ」「栄養管理グループ」等の職種ごとのワーキンググループを設置し活動を発展させる。 ワーキンググループ活動では職種ごとの課題を取り上げ、地域内の医療及び介護においてニーズの高いものを拾い上げ、より具体的な活動を展開していくこととする。また、ワーキンググループ活動を盛り上げるためメンバーの育成を進め、より活発な活動が進むようNPO法人として運営・支援していくこととする。 当面の具体的な活動としては、「情報共有シート」をカシオペアNETにおいて活用する運用に見直し、地域内の紹介等に必要な情報の標準化を行い円滑な転院と紹介における業務軽減を進める。</p>	<p>※令和5年度重点課題 「ひめほたるネット」との協働 令和5年度第2四半期開催を予定</p>		<p>「ひめほたるネット」の活動を「カシオペアNET検討委員会」の活動として継承する。</p>

<p>(2) 訪問診療・看護及び福祉行政を交えたカンファレンスの実施と課題の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療に欠かせない訪問看護ステーションにおいて、二戸訪問看護ステーションの体制確保のため、行政や看護協会と協働して支援を行っていく。</li> </ul>	<p>※令和5年度重点課題 令和5年度随時支援を行う</p>	<p>地域的に看護師の定着率が低いこともあり訪問看護師が集まりにくい。え、私立等の訪問看護ステーションの参入も難しい環境のなか、岩手県看護協会立二戸訪問看護ステーションでは常勤とパート職員の看護師をあわせて6名（常勤換算4.5名）で月間延べ340名（1日約17名）の利用者さんの訪問看護を施行。地域的に長距離の訪問が多く、冬季間の運転の危険が伴うなかで運営中。</p> <p>地域の利用者さんの希望をかなえようと必死に訪問看護を続けているのが実状。</p> <p>当NPO法人では、在宅医療・訪問看護を継続できるよう設立母体である岩手県看護協会等と話し合い、待遇改善や看護師派遣などについて要望中。</p> <p>存続に向けてNPO法人でチラシを作成、住民啓発を行っていく。</p>	<p>今後の運営についても、岩手県看護協会からの支援が必要であることから継続して話し合いを進めていく。</p> <p>地域内での訪問看護ステーション存続のため、状況把握と支援を継続する。</p>
<p><b>3. 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進</b> (2,770千円)</p>			
<p>(1) 訪問診療・看護カンファレンスの支援及び福祉行政を交えた在宅医療・介護の実態評価の実施及び改善策の模索</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ひめほたるネット部会」における看護ワーキンググループをもとに在宅医療・看護における課題を出し合い、今後の改善策を模索する。</li> </ul>	<p>令和5年度第2四半期開催予定</p>		<p>「ひめほたるネット」の活動を「カシオペアNET検討委員会」の活動として継承する。</p>
<p>(2) 「カシオペアNET」内「施設入所マッチングアプリ」の仕様改修及び導入にかかる説明会・研修会の実施</p>	<p>※令和5年度重点課題 アプリ改修令和5年度7月</p>	<p>令和6年2月21日に開催した「カシオペアNET」構築説明会において、</p>	<p>「カシオペアNET」全体の課題として委員会を通じながら検討していく。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内住民がより円滑に介護施設への入所を行うことができることを目的に作成した「施設入所マッチングアプリ」の有用性を、医療機関、介護施設及び福祉行政に対し細やかに説明及び研修会を行い、「施設入所マッチングアプリ」の使用拡大を図る。</li> <li>とくに、NPO法人ホームページから「利用者登録」を行う仕様改修を7月には完成させ、利用者（家族）が「施設入所マッチングアプリ」上で直接介護施設の選定を行うことができるなど、施設入所相談窓口担当者の業務軽減につながるよう随時改修を図り、より使いやすいアプリとしていくこととする。</li> <li>・「施設入所マッチングアプリ」利用にあたっては、担当者レベルの研修会を随時開催し、アプリ利用の理解度向上と使用促進を図る。</li> <li>・チラシを作成し、利用促進にむけた啓発活動を行うこととする。</li> </ul>	<p>説明会・研修会第2四半期中開催</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「カシオペアNET検討委員会」の設置と活動の推進</li> <li>2 「カシオペアNET」を、福祉行政、医療及び介護を結ぶ地域全体の包括ケアシステムに対応し活用する</li> <li>3 NPO法人の目的に賛同する福祉行政、医療、介護等団体及び事業所への入会依頼の推進の3つの柱を掲げ「地域包括ケアシステムに対応した活動」、「在宅医療に必要な連携を担う拠点としての活動」を推進していくことを明確に示した。</li> </ol>	
<p>(3) 住民が「利用者登録」を直接行う仕様とした、見やすく操作の簡易なNPO法人ホームページの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ本体は6月後半に公開とする。</li> <li>・「利用者登録」は7月に仕様追加を行い公開することとする。公開にあたっては、(2)で行う説明会及び研修会の中で仕様説明を行っていくこととする。</li> <li>・その他、(2)と同様。</li> </ul>	<p>※令和5年度重点課題 令和5年度6月</p>	<p>NPO法人ホームページは6月26日から公開済み。 利用者登録については、1(3)と同様。</p>	<p>ホームページについては、活動の報告、セミナー報告、カシオペアネットワーク通信の掲載等、継続してコンテンツの充実を目指す。 利用者登録については、「カシオペアNET」構築に合わせ、(株)ジェネシスと仕様改善を図っていく。</p>
<p>(4) 医師会、看護協会及び福祉行政を交えた訪問看護師による看取り制度の導入</p>	<p>令和5年度中開催目標</p>	<p>訪問看護師については、2(2)と同様。</p>	<p>啓発活動を継続していくこととする。</p>

<p>による医師の業務軽減を推進するルールの検討・作成（「ひめぼたるネット」ワーキングの活用）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2（2）の訪問看護ステーションにかかる支援と結びつけながら、講演会及び研修会を活用した地域住民への啓発と従事者の啓発活動を展開する。</li> </ul> <p>医師及び訪問看護師の負担軽減にむけ行政と連携しながら進めることとする。</p>		<p>医師会と共催し、7月27日に東北大学大学院医学系研究科 老年・在宅看護学分野 教授 尾崎 章子 氏を招き、ICTを用いた遠隔での死亡診断制度についての講演会開催。</p> <p>遠隔による死亡診断で医師の負担軽減及び訪問看護師の業務軽減につなげる啓発講演会の開催。</p>	
<p><b>4. 在宅医療・介護関係者に関する相談支援（417千円）</b></p>			
<p>(1) カシオペア地域内の標準化に向けた、医療及び介護連携の地域格差の是正にかかるヒアリングと相談支援（福祉行政との調整）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二戸市、一戸町、軽米町及び九戸村における在宅医療の標準化にむけ、福祉行政担当者連絡会議を通じて課題の抽出及び改善の模索を進めていくこととする。</li> <li>・ 「カシオペアNET」が在宅医療・訪問看護に有用性があることを認識してもらうため、医療者及び介護従事者に対し説明を進める。とくに、現在、在宅体制が確立している軽米町に対して「カシオペアNET」を利用してもらえるよう話し合いを進める。</li> </ul>	<p>※令和5年度重点課題 令和5年度第2四半期から随時</p>	<p>二戸訪問看護ステーションの看護師が患者さん宅に訪問看護した際に、患者さんの容態を「カシオペアNET」に入力することにより、担当医師が遠隔で確認し、即時に医師から治療指示を受ける環境が進行中。これまで電話や容態を文書に作成して指示を受け、時間のロスがあったものが即座に指示を受けることができることで患者さんの安心につながっている。</p> <p>医師が患者宅に訪問することがないことから医師の業務軽減となり、利用している医師からも助かっているとの感想あり。</p> <p>また、作成データを見ながら関連する職種が集まりカンファレンスも行っており患者さんのADL向上につなげる取組みをできている。</p> <p>一戸病院の訪問看護ステーションの利用も始まっており、軽米町で</p>	<p>「カシオペアNET」構築と併せ利用医師及び訪問看護師への説明会の実施と運用状況の確認のヒアリングを進める。</p>

		の訪問看護ステーションでも説明会を実施して利用拡大できるよう話し合いを進行中。	
(2) 相談支援窓口の設置及び専門員（コーディネーター）の配置 ・ハローワークへの求人を行うことはもとより、専門職退職者等に対し声かけを行い体制を確立させ相談窓口の開設にむけていくこととする。	※令和5年度重点課題 随時	専門員の配置はできていないが、7月から常勤1名、非常勤1名の1.7名の事務員を補充。 8月から常勤1名、非常勤0.7名、非常勤嘱託職員2名の体制で運営し、活動計画を遂行する。 11月から常勤職員1名、非常勤嘱託職員2名の事務局体制。	現状で少なくとも常勤職員2名、非常勤嘱託職員2名の体制が必要。
<b>5. 地域住民への普及啓発</b> <b>(452千円)</b>			
(1) 定期的な「カシオペアNETフォーラム」の開催 ・令和5年度は、7月27日（木）の在宅医療・訪問看護の看取り講演会を皮切りに年に2回開催し、医療・介護・福祉行政従事者及び住民の啓発活動を進めていくこととする。	※令和5年度重点課題 令和5年7月及び2月の2回開催	7月27日に「カシオペアフォーラム」を開催。 東北大学大学院医学系研究科 老年・在宅看護学分野教授 尾崎章子氏による「ICTを用いた遠隔での死亡診断制度」をガイドラインから読み解いた訪問看護の役割と医師との連携についての講演と二戸医師会長はじめ4名のシンポジストを交えて遠隔診断に関わるシンポジウムを開催。 参加者92名 2月21日に、「カシオペアNET」構築説明会を開催。 参加者67名	令和6年度においても医師会等との共催も視野に入れながら開催で検討していく。 地域住民の啓発につながる講演を企画していく。
(2) 各市町村との連携で地域懇談会への出席と健康維持にかかる講師派遣及びNPO事業の説明実施 ・各市町村で開催している地域懇談会に積極的に参加して健康維持について講演するとともに、NPO法人の活動	※令和5年度重点課題 令和5年度、各市町村行政と協議のうえ随時開催	10月16日（月）軽米町健康ふれあいセンターにて、「軽米町家族介護者教室」が行われ、当NPO法人高橋浩理事長がACPの考え方について出前講座を講演。 また、11月18日（土）一戸町コミュニティセンターにて開催し	各市町村と今後の実施計画について協議を進める。

<p>を宣伝して活動についての認識を高め ていくこととする。 そのため、行政担当者連絡会議にお いて日程確認等を進めていることとす る。</p>		<p>た一戸町在宅医療セミナー（当N PO法人共催）には、182名 （一般参加者122名、関係者6 0名）が参加。当NPO法人から は医師及び看護師を派遣。 また、軽米町地域包括ケア推進協 議会に出席し、活動内容と今後の 計画について報告した。</p>	
<p>(3) 「カシオペアNET」利用者促進に向 けたチラシ作成及び配布促進 ・「施設入所マッチングアプリ」や在 宅・訪問看護に利用している「状態報 告アプリ」の有効性についてチラシを 作成し、地域内住民への宣伝・啓発を 行うとともに地域内医療・介護・福祉 行政担当者への啓発も行うこととす る。 ・チラシ内にはNPO法人ホームペー ジの活用方法についても掲載し認識度 を高める活動を展開する。 ・「カシオペアネットワーク通信」を 定期的に発行し、NPO法人の活動に ついて宣伝を強化する。</p>	<p>※令和5年度重点課題 令和5年度第2四半期チラシ 作成、各市町村地域包括支援 センター、病院、医院及び施 設に配架</p>		<p>ホームページから利用者登録できる仕 様の完成とあわせチラシ作成・配布を 進める。</p>
<p><b>6. 医療・介護関係者の情報共有の 支援（735千円）</b></p>			
<p>(1) 「カシオペアNET」の利便性の宣伝 活動の徹底で住民への認識度向上と利用 者拡大 ・3(2)と同様</p>	<p>※令和5年度重点課題 令和5年度第四2半期チラシ 作成、各市町村地域包括支援 センター、病院、医院及び施 設に配架</p>	<p>1(1)及び(3)と同様。</p>	<p>1(1)及び(3)と同様。</p>
<p>(2) 「施設入所マッチングアプリ」「情報 共有ツールアプリ」等、連携共有支援に 有義度が高いアプリの開発促進</p>	<p>令和5年度第2四半期「入所 マッチングアプリ」運用開始 後、随時開発。</p>		<p>「カシオペアNET検討委員会」の委 員選出を受け、コロナ禍で縮小せざる を得なかった「顔の見える連携」の再 構築を図る。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 (1) 及び 3 (2) の活動とあわせ、「ひめほたるネット部会」におけるワーキンググループで討議した課題を拾い上げ、地域のニーズに対応した在宅医療・看護において有義度の高いアプリの開発を促進する。</li> <li>・ 在宅にかかせない口腔ケア連携について、歯科連携アプリの開発・作成に取組みこととする。</li> </ul>	<p>歯科連携アプリについては、7月以降、歯科医師と連携して作成する。</p>		
<p>(3) 「カシオペアNET」活用に伴う本人同意の確認による個人情報保護法制の遵守</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「利用者登録」時に必要な個人情報取扱規約や個人情報利用に関する同意書について遵守を図るとともに、規約等について見直しを行いながら、地域内における医療及び介護等の情報の遵守徹底を進める。</li> </ul>	<p>※令和5年度重点課題 「入所マッチングアプリ」運用開始と併せ実施</p>		<p>1 (3) と同様。</p>
<p>(4) 患者本人意思の尊重とICTを活用した本人意思の共有アプリの開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (2) と同様。</li> </ul>	<p>令和5年度第2四半期「入所マッチングアプリ」運用開始後、随時開発</p>		<p>「カシオペアNET」全体の課題として検討していく。</p>
<p><b>7. 知識の習得等のための研修など 地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援 (772千円)</b></p>			
<p>(1) 「ひめほたるネット」と連携した職種毎及び多職種の従事者研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 (1) のワーキンググループを通じて、職種ごとのニーズにあわせた研修会を開催するとともに、多職種間において有用な研修会の開催も検討していくこととする。</li> </ul>	<p>令和5年度、年2回開催予定</p>		<p>「ひめほたるネット」の活動を「カシオペアNET検討委員会」の活動として継承する。</p>

<p>(2) 医療、介護及び福祉行政にかかる新採用ならびに採用後初期における医療・介護・福祉連携にかかる研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (1) の研修会開催のほか、行政担当者連絡会議を通じて行政におけるニーズを確認して医療及び介護からの福祉行政担当者への研修会開催を進めていくこととする。</li> </ul>	<p>※令和5年度重点課題 令和5年度、各市町村行政と協議のうえ随時開催</p>		<p>各市町村と相談しながら開催を進めていくこととする。</p>
<p>(3) 地域の医療及び介護の見識を深めることを目的とした福祉福祉行政職員のNPO法人の実務研修の開催模索</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (2) と同様。</li> </ul>	<p>令和5年度、各市町村行政と協議のうえ随時開催</p>		<p>7 (2) と同様。</p>
<p>(4) 「カシオペアNET」アプリ操作研修会の随時開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「カシオペアNET」アプリの開発とあわせ、随時説明会・研修会を開催する。地域内医療・介護・福祉行政担当者全体が利用するアプリとなるよう展望をもって進めていくこととする。</li> </ul>	<p>「カシオペアNET」運用とあわせ随時開催</p>		<p>「カシオペアNET」構築と併せ随時の開催を目指す。</p>
<p><b>8. その他</b></p>			
<p>(1) NPO法人の財政基盤確立</p> <p>NPO法人の財政について、現在、個人からの借入れを行いながら運営しているところであるが、長期にわたる運営上から考慮すると健全な財政基盤を確立する必要があると思われることから、「財政健全検討委員会（仮称）」を設立し、今後、長期にわたる運営の財政について検討する機関を設ける。</p>	<p>令和5年度第2四半期に発足、協議を始める。答申を理事会上に提出し、財政について検討することとする。</p>	<p>8月に検討委員会開催。 今後の予算調整について協議し、借入金の返済計画等健全運営について検討した。</p>	<p>今後についても、健全なNPO法人活動に向け随時検討委員会を開催していく。 とくに、会費収入を得るための会員加入について加入依頼訪問を行うなど促進事業を進める。</p>